

(一社) 近江ツーリズムボードが、 解説動画や城攻めゲームアプリで彦根城の魅力を発信

滋賀県彦根商工会議所が事務局を務める一般社団法人近江ツーリズムボード（以下、「ツーリズムボード」という。）は、彦根城内で戦闘ゲームや天守などを解説した動画の視聴ができる多言語アプリ「体感国宝彦根城」を開発しました。アフターコロナを見据えた、受入体制整備のため、彦根城の歴史や魅力を、外国人にも楽しく分かりやすく解説することを目的に、文化庁の文化財多言語解説整備事業を活用しました。日本語、英語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）に対応しています。

このアプリでは、「鉄壁の要塞」として知られ、世界遺産登録を目指している国宝の彦根城を動画やゲームで体感しながら楽しく学べるようになっています。

10本ある動画では、近江観光大使として彦根などで活動する、オーストラリア出身のラジオDJのクリス・グリーンさんが案内役を務めています。彦根城内の天守や天秤櫓、玄宮園などについて、兵士役をしたりCGをしたりして攻防シーンを再現しながら、入り口に曲がり角があるのはなぜか等、説明がなければ見過ごしがちな城の守りの仕組みを中心に解説しています。10本ある動画それぞれには、日本語の吹き替え版と中国語の字幕版もあります。

彦根城の攻略をめざす戦闘ゲームは、表門から天秤櫓など天守に着くまでの4地点で楽しめます。スマートフォンやタブレット等の端末を起動させ、周囲にかざすと、江戸時代を再現したCGが画面に現れます。画面上に現れる甲冑姿の武士たちと弓や鉄砲で攻防戦を繰り広げ、生き残れば「突破」、負ければ「討死」の文字が表示されるようになっています。

他にも、天守前などで井伊直政公の兜をかぶって撮影ができるAR機能や、彦根城と彦根城博物館の解説文も搭載しています。

アプリは、彦根城に行かなくてもスマートフォンやタブレット端末に無料でダウンロードできますが、ゲームは彦根城内でのみ楽しめます。表門券売所でタブレットを貸し出すサービス(貸出料5,000円、利用後3,000円返却)もあります。

監修したクリスさんは、「外国人は日本の歴史や文化に関心があり、本物がみたいと思っています。このアプリでは彦根城の歴史、ストーリーを楽しみながら学べます。」と話し、ツーリズムボードの担当者は、「アプリをダウンロードすれば、動画や解説文はどこでも見ることができます。コロナ禍ですので、まずはダウンロードして彦根城へ来た気分を満喫してください！彦根市民の皆さんにもご利用いただき、彦根の再発見をして欲しいですね。」と話しています。



問い合わせ先

一般社団法人近江ツーリズムボード

電話：0749-22-5580

HP： URL <https://oh-mi.org/>